

令和7年度第3回函館方面函館西警察署協議会議事概要

1 開催日時

令和7年12月18日（木） 午後1時30分から午後3時50分までの間

2 開催場所

函館西警察署大会議室

3 出席者

(1) 協議会委員 5名（定員6名）

会長	永井正人
副会長	四戸悦未
委員	原田菜摘
委員	佐々木佳織
委員	柴田成

(2) 警察署員 11名

署長	高橋司朗	生活安全課長	沼田紀子
副署長	佐々木智	地域課長	浅香大仁
刑事・生活安全官	石田淳	刑事第一課長	下山田仁
地域・交通官	富木豪	刑事第二課長	松塚健太
警務課長	菊池孝則 (庶務担当)	交通課長 警備課長	兼古健太郎 高橋宜孝

(3) オブザーバー 2名

函館方面公安委員長	齋藤利仁
函館方面公安委員	中田智明

4 函館西警察署長挨拶

当署管内の情勢ですが、特殊詐欺の受け子あるいは現金回収役の逮捕、皇族のお成り警衛、青柳町において強盗致傷事件の発生、青森県東方沖地震が発生し津波注意報が出るなど慌ただしい状況です。

今後、歳末に向け、交通事故の抑止、金融機関・コンビニ等の警戒を強化し犯罪を未然に防ぐ、発生した凶悪事件の検挙に向け捜査に全力で取り組んでいきたい、このように考えております。

警察署協議会は、住民の方々から警察に対する様々な意見・要望をお伺いいたしまして、それを警察行政に生かすという趣旨でありますので、忌憚のないご意見を活発に出していただければ幸いと存じますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

5 函館西警察署協議会会长挨拶

お寺に強盗が入ったり、青森県東方沖地震が発生したり、火事が発生したりと、函館でも犯罪や災害は人ごとではないと強く感じております。

本日のテーマは「災害警備活動」と伺っておりますが、災害というのは突然やってくるもので、どの様に対処していくべきのか、警察ではどのような備えをしているのか、我々はどの様に受け止めたらよいのか理解を深めていきたいと思います。

6 業務説明

- (1) 委員 特殊詐欺の増加が止まらないというお話でしたが、最近増えている手口とか、新しい手口ってあるんですか。

警察 最近増えている手口としては、キャッシュカード詐欺盗という、キャッシュカードの交換が必要と言って自宅に行き封筒にキャッシュカードを入れさせてすり替える手口が多く発生しています。

新たな手口としては、スマホを持たない高齢者などをコンビニに誘導し、マルチコピー機を操作させて逮捕状などの書類を印字させて信用させる手口や、警察官を騙る詐欺で取調べと称してホテルや公園に誘導し、外部との接觸を遮断させた上で現金を騙し取る手口も確認されています。

警察では、コンビニ各社やホテル業界などに注意喚起し、巡回連絡やホームページに掲載するなど手口の周知に努めております。

- (2) 委員 暴力団ってどれ位いるんですか。

警察 全国的に暴力団構成員の数は減少傾向にあり、函館においても同様に減少しており、構成員と準構成員合わせて約100人を確認しております。

暴力団構成員の減少により、暴力団構成員の犯罪も減少傾向にありますが、実際には暴力団組織や構成員が潜在化、不透明化し、匿名流動型犯罪グループなどをを利用して悪質・巧妙に犯罪を敢行しております。

今後も暴力団組織、匿名流動型犯罪グループの壊滅、弱体化に向け取り組んでまいります。

- (3) 委員 函館西警察署管内では刑法犯の認知件数が減少していることをお聞きしましたが、全道的な傾向はどうなのでしょうか。

警察 11月末現在における全道の刑法犯認知件数は22,534件、前年同期と比べて1,416件の増加で、増減率で表すと6.7%の増加となっており、全道的にみると増加傾向が続いている。

全道64の警察署のうち、11月末現在で減少傾向を維持しているのが当署を含む19署で、当署の前年比18件の減少というのは、全道で4番目の数字となり、引き続き効果的な対策を講じながら減少に努めてまいります。

- (4) 委員 熊の被害が例年より聞かれておりますが、生活圏内・市街地での災害や警備が必要となった場合に、「実はこんな対応もしています。」や「こんな困りごとは警察に連絡してください。」といったことがあれば教えてください。

警察 現時点において、函館西警察署管内での熊の出没情報はありませんが、出没した際には迅速な対応がとれるよう函館市担当者との連携を密接にしております。

生活圏・市街地にヒグマが出没した場合は、

- パトカーで現場臨場して出没状況を確認し、関係機関と情報を共有
- いまだヒグマが居座る状況であれば自治体、ハンターと連携して駆除を検討
- 既に立ち去った後であれば食害状況などの被害状況を確認した後、パトカーのマイクを使用して出没状況を広報、住民の皆様への警戒を行う

○ 報道発表や防犯メールなどを用いて広く広報などの対応を行っております。

また、

○ 実際には目撃していないが敷地や道路に痕跡（糞や足跡）を見つける場合

○ 姿は見えないがうなり声のようなものを聞いた

というようなことがあれば、警察や自治体に通報をお願いしているところであります。まずは警察、自治体、ハンターが現場を確認して、ヒグマの可能性がある場合は広報活動を行うなど、ヒグマ事案について警察では住民の皆様の安全確保、人身被害防止を最優先に考えて活動しております。

(5) 委員 交通事故の多い時間帯や事故形態としては、どういったものが多いのか教えてください。

警察 本年11月末まで的人身交通事故の発生状況からご説明いたしますと、北海道内で最も交通事故の発生が多い時間帯は、薄暮時間帯の午後4時から午後6時まで全体の約16%、次いで多い時間帯は午前8時から午前10時まで全体の約15%となっており、当署管内においても全道統計結果と変わらず、午後4時から午後6時までの事故が全体の約19%、午前8時から午前10時までが約16%となっています。

事故原因は、いずれも通勤、帰宅の時間帯であり交通量が多いこと、午後は薄暮により視界が悪いことなどが考えられます。

事故形態については、北海道内で最も多いのが車両同士の追突事故で約28%、次に多いのが車両同士の出会い頭事故で約21%、当署管内において最も多いのが車両同士の追突事故で約28%、人対車両の事故が約25%となっています。

当署管内では人対車両の人身事故が多い傾向にありますが、これは歩行者が多い都市部における交通事故の特徴であり、今後も街頭活動や各種啓発活動を継続し発生抑止活動に努めてまいります。

(6) 委員 ヒグマ対策として、市やハンターと合同対処訓練が行われていると聞きましたが、どのくらいの頻度で訓練が行われているのでしょうか。

警察 年に1回以上、函館市、獵友会、道など関係機関が集まり訓練を実施しております。

訓練の内容としては、実際に市街地にヒグマが出没した場合を想定し、住民の避難誘導やヒグマを捕獲するまでの過程を訓練しています。

7 訪問事項～災害警備活動について

委員 災害や救助などがあった場合、警察はどのように活動されているのでしょうか。

例えば、海や山などの救助の場合、自衛隊や消防なども出動されていると思いますが、どこが出動するかなど違いや基準・連携があるのでしょうか。

警察 災害が発生した場合、警察、消防、海保、自衛隊、道とそれぞれの強みを生かし連携しながら災害対応（救助、避難誘導等）に当たっております。

8 道内における懲戒処分状況

処分状況なし

9 前回質問に対する回答

委 員 性別によって犯罪を犯しやすいみたいな傾向があるのか知りたいです。

警 察 全道の過去10年の検挙した人の性別を統計で見たところ、全刑法犯はだいたい平均で男性8割、女性2割の割合になっています。

男性の割合が多い犯罪としては、強盗や暴行、傷害などの暴力的犯罪となります。

女性の割合が多いのは窃盗罪で、他の犯罪の割合から比べると女性の割合が多いという傾向にあります。これはあくまでも検挙された人員での性別の傾向というだけで、多数の未検挙事件がありますので、あくまで参考程度のものとなります。

10 署長総括

11 公安委員による講評

12 次回の開催予定

令和8年2月を予定